



6年生のじゃがいも掘り

昨日6日(月)、おひさま広場にあるじゃがいも畑で、6年生がじゃがいもを掘ってくれました。このジャガイモですが、昨年度の3月に今の6年生の子供たちが、5年生のときに植えてくれていました。地中からたくさんのじゃがいもが出てきて子供たちからも歓声が上がりました。



このじゃがいもは、根菜の中でも、「茎」の部分が膨らんでできる「塊茎(かいけい)」と呼ばれる部分を収穫する根菜です。つまり私たちは、「根」ではなく「茎」の部分を食べています。里芋も塊茎の仲間です。同じイモでもサツマイモは根っこのところが膨らむ「塊根(かいこん)」です。それでは、じゃがいもの仲間はなんでしょう？正解は、なんと「トマト」「ピーマン」「ナス」などの野菜と同じ「ナス科」の植物なのです。その証拠に、それぞれの花を観察してみると花びらやガクの部分がとてもよく似ています。

じゃがいもは、子供たちが大好きな野菜の一つです。このジャガイモを使って、給食の料理に使われます。おいしくて栄養満点の献立に生まれ変わることでしょう。6年生の皆さん、ありがとう！

数を表す便利な単位

体重35kgや学校まで3kmなど、よく使うグラムやメートルとの前には、「キロ」という言葉がくっついています。重さや距離は全く違う量を表しているのですが、同じ言葉を使います。これは、グラムやメートルなどの前につけて大きさを一言で表す便利な単位なのです。

キロは1000倍の意味で、3キロは「 3×1000 」、35キロは「 35×1000 」となります。天気予報でお馴染みのヘクトパスカルは、気圧を表します。パスカルという単位に100倍を表す「ヘクト」という単位をつけています。畑の面積をアールやヘクタールで表しますが、ヘクタールは、アールの100倍を意味するのです。

一方で小さい単位を表す言葉もあります。体積を表すデシリットルの「デシ」は、10分の1を表します。長さを表すときに使うセンチメートルの「センチ」は100分の1、ミリメートルの「ミリ」は1000分の1を表します。

コマーシャルなどでも使われる「メガ盛り」や、スマホなどの通信量で「ギガ」という言葉も大きさを表しており、「メガ」はキロの1000倍、「ギガ」はメガのさらに1000倍を意味します。このように大きな数字を一言で表すことができ便利です。

ところで、2022年11月に、世界の専門家たちが集まって、新しく大きな数と小さい数を表す単位をそれぞれ2つ決めたそうです。大きな数を表す一番大きな単位が、1の後に0が30個並ぶ「クエタ」で、小さい単位は小数点の後に0が29個並ぶ「クエスト」です。情報量が膨大になり、人が扱う量の単位もそれだけ増えてきたのでしょね。

倍	10億分の1倍	100万分の1倍	1000倍分の1倍	100分の1倍	10分の1倍	1倍	10倍	100倍	1000倍	100万倍	10億倍
単位	n(ナノ)	μ (マイクロ)	m(ミリ)	c(センチ)	d(デシ)		d(デカ)	h(ヘクト)	k(キロ)	M(メガ)	G(ギガ)
長さ	nm	μ m	mm	cm		m(メートル)			km		
かさ			mL		dL	L(リットル)			kL		
重さ			mg			g(グラム)			kg		
広さ(面積)						a(アール)		ha			